

2. 賑わいと癒しの創造

2 賑わいと癒しの創造

【1】魅力ある湯治場としての復活 【2】熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上

<重点化施策>

(1) まちで楽しむ(観光)

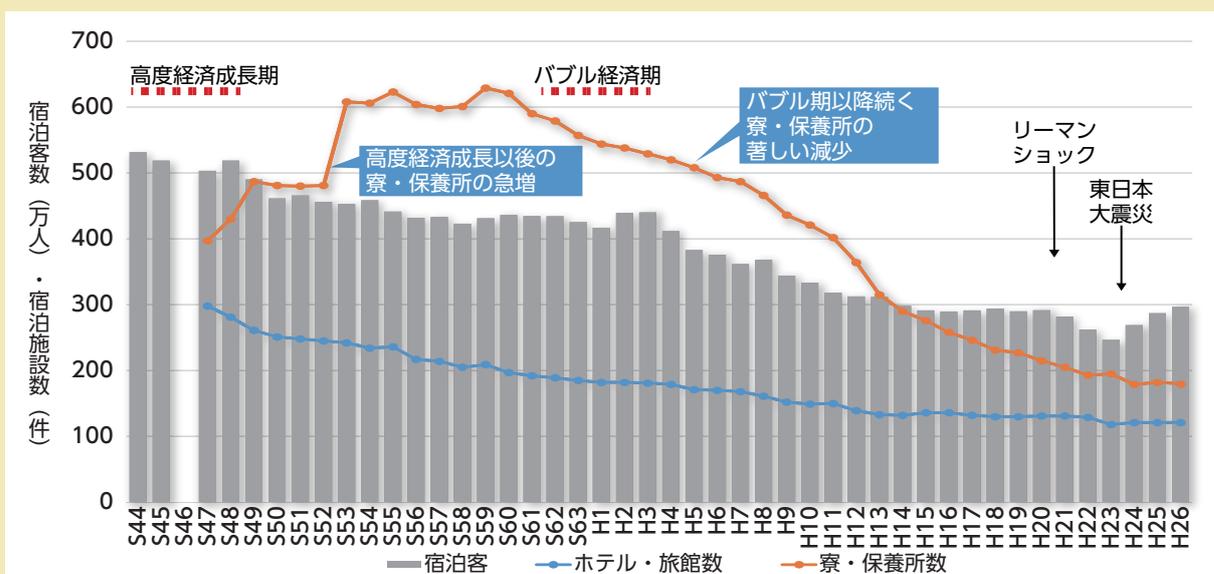
現状と課題

本市は豊かな自然資源有する温泉観光地として発展してきました。しかしながら、団体客から個人・グループといった少人数での旅行への形態の変化やニーズの多様化などにより、昭和44年度の約532万人をピークに年々減少してまいりました。特に、リーマンショック、また東日本大震災の影響により、平成23年度には約247万人まで減少しましたが、官民が一体となって進めたメディアプロモーション、*観光ブランドプロモーション(解説P.91)などにより、平成26年度の宿泊客数は、約297万人になるなど、その数は増加傾向にあります。

しかし、これまで以上に全国総観光地化が進むとともに、国外旅行にも簡単に行けるなど、旅行者自身の選択肢が増える中、さらに本市が観光客を誘客していくには、旅行形態や観光客ニーズを正確に把握する必要があります。また結果を基にターゲティングを行い、情報発信をはじめとした多様な誘客活動を官民が連携して的確に行っていく必要があります。

東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なイベントが開催される中で予想される外国人観光客の増加に対応した、外国人観光客を誘客するための環境整備を行っていく必要があります。

入湯税から見た宿泊客数と宿泊施設数の推移



資料：熱海市の観光

施策の方向

- ◇ 観光まちづくりに携わる人材・団体の育成及び支援を行っていきます。
- ◇ 旅行形態や観光客ニーズが多様化していることから、誘客促進のための調査・分析を行っていきます。
- ◇ ターゲティングを行い、情報発信をはじめとした多様な誘客活動を官民連携しながら行っていきます。
- ◇ 外国人観光客を誘客するための環境整備を進めていきます。
- ◇ 他市町村との広域連携による新たな魅力を発信していきます。



施策の内容と主な事業

施策の内容	主な事業
*シティプロモーション（解説P.93） 推進	<input type="checkbox"/> 観光ブランドプロモーション事業 <input type="checkbox"/> メディアプロモーションの推進 <input type="checkbox"/> ADさんいらっしやい事業
観光誘客事業の推進	<input type="checkbox"/> 観光まちづくり事業に対する支援 <input type="checkbox"/> まち歩きガイドの養成講座の開催 <input type="checkbox"/> 外国人誘客促進事業
ターゲティングを行った観光商品の 企画・立案	<input type="checkbox"/> 観光ニーズ等に対する調査・分析
観光関連活動への支援	<input type="checkbox"/> 地域観光活動に対する支援
広域連携による魅力発信	<input type="checkbox"/> *美しい伊豆創造センター（解説P.91）における広域連携活動

評価指標と目標値

指 標	現 状	最終目標
宿泊客数	2,967,301人	3,250,000人
外国人宿泊客数	31,702人	70,000人

2 賑わいと癒しの創造

[1] 魅力ある湯治場としての復活 [2] 熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上

<重点化施策>

(2) まちを知ってもらう(情報発信・収集)

現状と課題

近年の情報発信手段は、紙媒体のものからITを駆使したもので多様化しています。中でも、*ソーシャルメディア(解説P.94)の台頭により、個々人の情報発信も容易なものとなり情報の拡散も速くなっています。

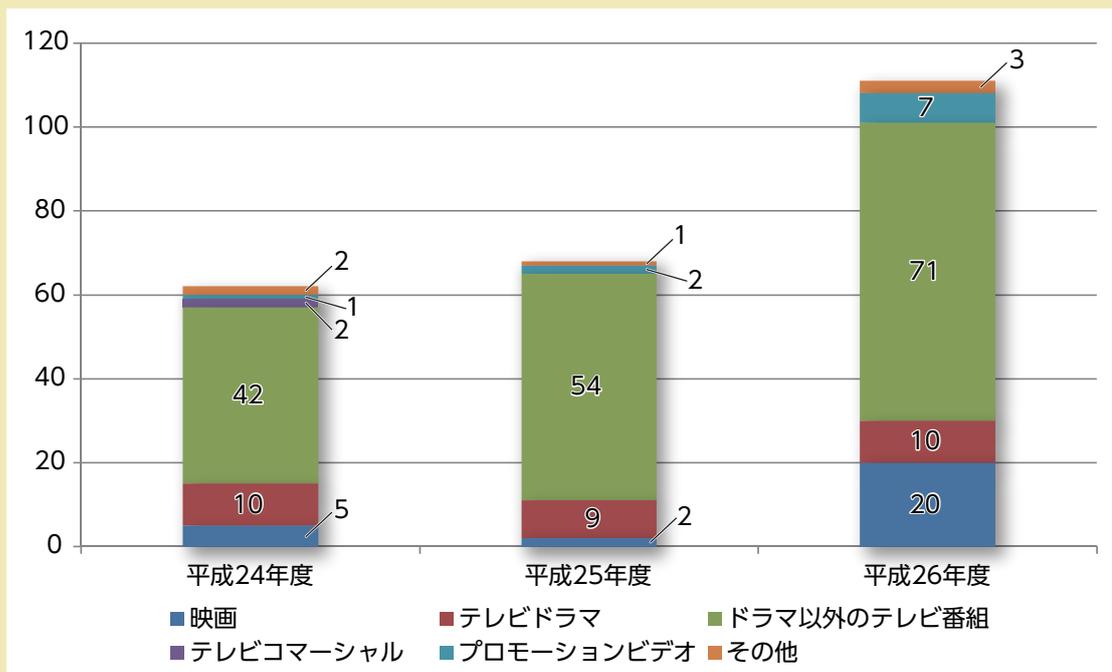
このような状況の中で、熱海に住む人(市民・別荘所有者等)や熱海を訪れる人からの情報発信は人々の共感を生む情報発信の手法の一つとして有用であり、多くの人々が熱海の情報に触れる機会(タッチポイント)を増やしていくことが望まれています。

本市では、平成25年2月に熱海市シティプロモーション基本指針を策定しました。この指針では、都市イメージの向上、戦略的な情報発信、情報発信力の強化に努め、地域の魅力を市内外に効果的にアピールし、ヒト・モノ・カネ・情報などの資源を地域内で活用していくこととしています。

本市の地域ブランドとしての魅力を高めるため、プロモーションを戦略的に行い、「熱海を訪れたい」、「熱海に住みたい」、「投資をしたい」という「選択される街」となるよう街全体の情報発信力を高めていく必要があります。



ロケ支援「ADさんいらっしゃい」実績



資料：観光経済課

施策の方向

- ◇ 旬な情報を定期的にメディアへ情報提供するなど、メディアと良好な関係を構築し、首都圏メディアへの露出を高めていきます。
- ◇ 観光情報の発信については、シーズンごとにコンセプトやタイトルを設定し、観光関連団体や市民自らが実施するイベントなどにも反映させます。まち全体の観光プロモーションに統一感を持たせることで顧客への訴求力を高めていきます。
- ◇ 市民や別荘所有者の方からの愛着に基づく情報発信がされるよう推進します。
- ◇ ターゲットのニーズや媒体に合わせた移住促進プロモーションを実施します。



施策の内容と主な事業

施策の内容	主な事業
旬な情報を首都圏メディアに発信	<input type="checkbox"/> 【再掲】 ADさんいらっしゃい事業 <input type="checkbox"/> プレスリリースの配信
プロモーションテーマの設定と恒常的な魅力の整理	<input type="checkbox"/> 【再掲】 観光ブランドプロモーション事業
魅力ある情報を効率よく発信する	<input type="checkbox"/> 市民・別荘所有者・企業・行政によるSNS等を使った情報発信
移住促進プロモーションの実施	<input type="checkbox"/> 移住につながる情報の発信

評価指標と目標値

指標	現状	最終目標
市ホームページアクセス数	277,815件/月	300,000件/月
*地域ブランド調査魅力度 (解説P.94)	31.0ポイント 市町村ランキング16位	33.0ポイント 市町村ランキング15位以内

2 賑わいと癒しの創造

[1] 魅力ある湯治場としての復活 [2] 熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上

<重点化施策>

(3) まちを匂わせる (文化の振興)

現状と課題

本市は古くから、温泉保養地として栄え、政治家や多くの文人墨客に愛されていたことから、彼らの別荘や旧居が多数存在しています。

特に国の重要文化財として指定を受けている「旧日向家熱海別邸（旧日向別邸）」、熱海市指定文化財である「起雲閣」、国の史跡に指定された、「江戸城石垣石丁場跡」が現存しています。

これは、先人たちが育み、守りぬいてきた貴重な財産・資源であるといえます。

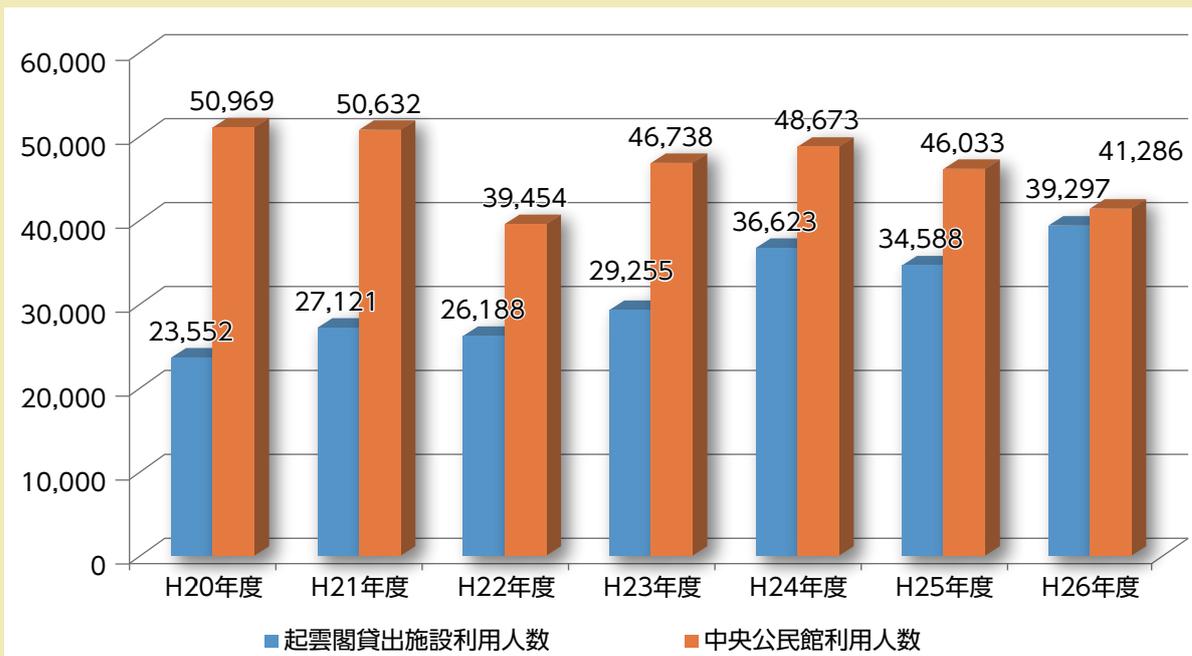
しかし、多くの市民にとって、その文化財の重要性と歴史的価値が十分に認識されているわけではありません。

この貴重な財産・資源を次世代へ継承していくためには文化財の重要性と歴史的価値の認識を高めることが求められています。

そのためには、残すべき貴重な財産・資源を魅力あるものとして発信するとともに、市民の文化活動を支援し、文化意識の高揚を図っていくことが求められています。



施設利用人数の推移



施策の方向

- ◇ 文化意識の高揚を図るため、次世代を担う子ども達の文化活動支援を行います。
- ◇ 市民や観光客のニーズにあった文化活動に対する活動の場の提供・支援により文化活動の活性化を図ってまいります。
- ◇ 文化・芸術の発表の場となる文化活動の拠点の整備を進めます。
- ◇ 起雲閣について熱海市指定文化財として適正に管理運営するとともに、来館者の満足度を高めるような主催事業を実施していきます。
- ◇ 歴史的資源として存在する文化財の魅力の発信に努め、意識啓発を進めます。
- ◇ 熱海市内で唯一の国指定重要文化財建物である旧日向別邸について保存に努めるとともに後世に伝えられるよう整備を進めます。
- ◇ 江戸城石垣石丁場跡については、重要な遺跡であることから、活用に向けての取り組みを近隣市町とともに進めてまいります。



施策の内容と主な事業

施策の内容	主な事業
次世代育成活動	<input type="checkbox"/> 公民館寺子屋事業 <input type="checkbox"/> 児童・生徒への文化の継承
文化活動への支援	<input type="checkbox"/> 文化振興事業に対する支援 <input type="checkbox"/> 【再掲】観光まちづくり事業に対する支援 <input type="checkbox"/> 湯めまちをどり「華の舞」の支援
文化活動の拠点整備	<input type="checkbox"/> 起雲閣主催事業の推進 <input type="checkbox"/> 起雲閣の管理運営
文化財保護活動の推進	<input type="checkbox"/> 文化財保護推進事業
重要文化財等の保存・整備・活用	<input type="checkbox"/> 江戸城石垣石丁場跡の保存・整備・活用 <input type="checkbox"/> 旧日向別邸の保存・整備・活用

評価指標と目標値

指 標	現 状	最終目標
起雲閣貸出施設利用人数	39,297人	43,000人
中央公民館施設利用人数	41,286人	42,000人
【再掲】市民教室受講者状況	69.5%	85.0%

[3] 地域特性を生かした産業の振興

<重点化施策>

(1) 個店の取り組みを支援する(商工業の振興)

現状と課題

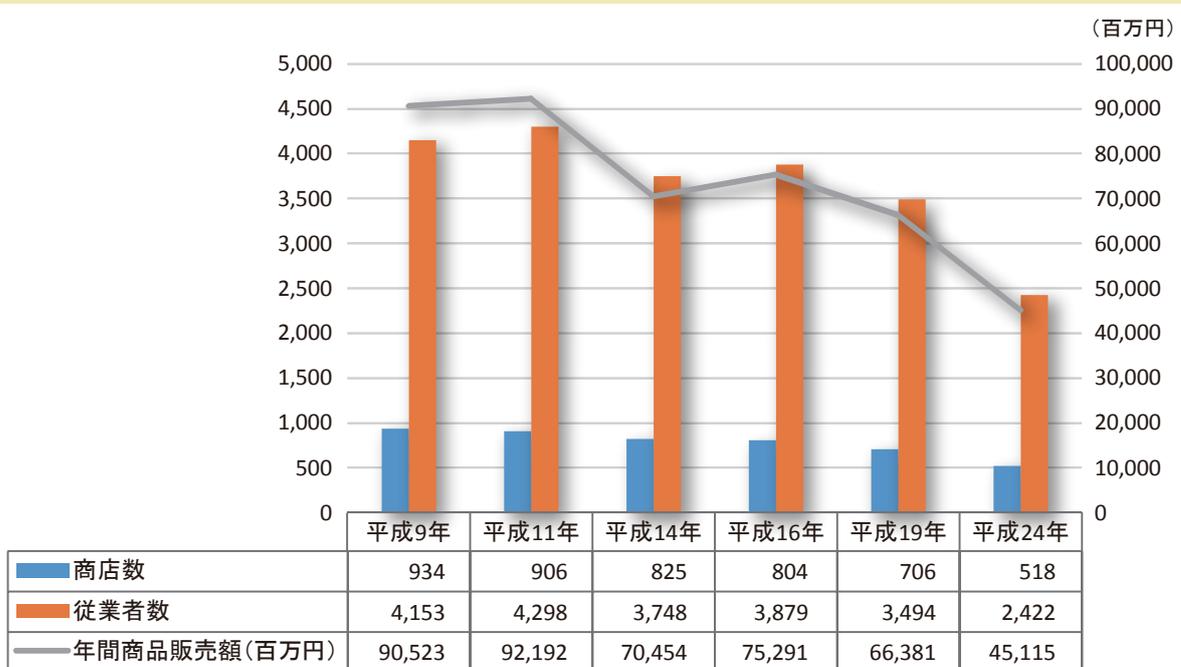
大型商業施設への購買客の集中、近隣市町への流出やインターネットショッピングの普及、また観光客を含む消費者ニーズの多様化などにより、卸・小売業の商店数や従業員数、年間商品販売額とも減少傾向にあります。

本市には*二地域居住者(解説P.95)や観光客といった多様な消費者層があり、それに応じたニーズが存在していることから、事業者の創意工夫によるターゲットを絞った商品開発やサービスの向上が求められます。

また、人口減少・少子高齢化・単身世帯の増加といった社会環境や、質の高いおもてなしを求める観光客が増えている等、商店街を取り巻く状況も大きく変化しており、商店街は経済活動の枠を超えた、公共的な体制づくりや幅広い取り組みが必要です。



商店数、従業者数、年間商品販売額の推移



※商業統計調査(平成9年~19年)
*経済センサス(解説P.92)活動調査(平成24年)

施策の方向

- ◇ 事業者の意識改革や自らの創意工夫により魅力ある商品やサービスの開発・提供ができる店舗が増えるよう推進します。
- ◇ 後継者不足等の課題を抱える事業者を支援します。
- ◇ 多様な消費者層のニーズに対応できるように事業者や商店街のサービス向上の取り組みを推進します。
- ◇ 商店街の魅力向上のため、商店街の特色を生かした地域から期待される新たな取り組みを推進します。



施策の内容と主な事業

施策の内容	主な事業
個店支援	<input type="checkbox"/> 経営相談体制の強化 <input type="checkbox"/> セミナー・*ワークショップ（解説P.96）の開催 <input type="checkbox"/> 異業種間のマッチング事業 <input type="checkbox"/> 事業引継ぎ相談
商店街の魅力向上	<input type="checkbox"/> 商店街のコミュニティ機能拡大の推進 <input type="checkbox"/> 官民協働による創業支援体制の強化

評価指標と目標値

指標	現状	最終目標
市内卸売業・小売業の年間商品販売額合計	45,115 (百万円) (平成24年経済センサス)	47,371 (百万円)
市内小売・飲食・サービス業の法人市民税申告額 (市内本店事業所分)	66,712 (千円)	70,048 (千円)

2 賑わいと癒しの創造

[3] 地域特性を生かした産業の振興

<重点化施策>

(2) まちの恵みを受け取る（農林水産業の振興）

現状と課題

本市の農業を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化などにより、新たな担い手を確保していくことは大変困難な状況にあります。

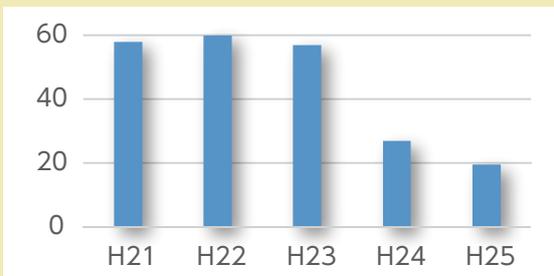
また、主要品目である柑橘類の価格低迷、繰り返される有害鳥獣による農産物被害による意欲減退など、ますます耕作放棄地が拡大していくことが懸念されており、これらへの対策が必要になっております。

水産業については、水揚げなど気象への依存度が高いだけでなく、乱獲等による資源の枯渇リスクなど、常に不安定な状況にさらされており、安定的な漁獲量確保や収入の確保が必要になっております。

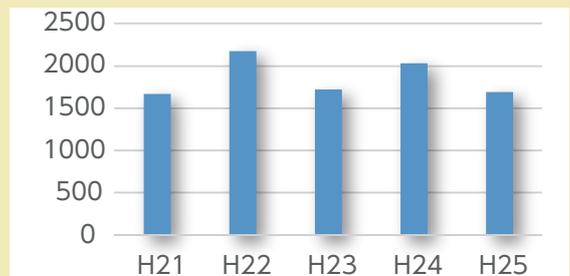
本市は、温泉・海・山の自然豊かな観光地として年間300万人近い観光客が宿泊する日本有数の観光地であり、新たな販路や消費先の開拓など、観光と農林水産を連携させることを推進する必要があります。



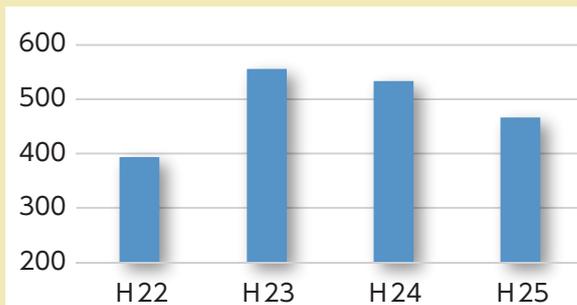
属地陸揚量 (t)【初島漁港】



属地陸揚量 (t)【網代漁港】



柑橘類※の収穫量 (t)



※特産柑橘類
みかん・だいだい等

施策の方向

- ◇ 農作物の販路拡大などの情報を農業の担い手に提供するとともに、新たな農産物の生産に取り組もうとする事業者などに対しては、耕作放棄地の活用や観光資源としての活用など効果的な情報提供に努めていきます。
- ◇ 鳥獣被害については、市民安全の観点からも行政として対策を講じていきます。イノシシを中心に個体数の減少に努めるとともに、農産物への被害や住宅への侵入防止対策に努めます。
- ◇ 水産物資源の保護育成のため、稚魚や稚貝の放流を行っていきます。
- ◇ 初島漁港の観光施設整備を進め、観光と農林水産業を連携させることを推進していきます。



施策の内容と主な事業

施策の内容	主な事業
効果的な情報発信	<input type="checkbox"/> *6次産業（解説P.90）化などの情報提供 <input type="checkbox"/> *熱海ふるさとサポート寄附金（解説P.91）への御礼
鳥獣被害抑制への取り組み	<input type="checkbox"/> 鳥獣被害防止事業への助成
水産資源の保護	<input type="checkbox"/> 稚魚や稚貝の放流事業
漁港の整備	<input type="checkbox"/> 初島漁港の整備

評価指標と目標値

指標	現 状	最終目標
耕作放棄地面積	9,260a （平成22年*農業センサス） （解説P.95）	9,200a
農地への鳥獣被害面積の軽減	1,086a	760a
初島漁港の整備（交流広場）	埋め立て工事中	平成30年度完成

2 賑わいと癒しの創造

[3] 地域特性を生かした産業の振興

<重点化施策>

(3) 新たな産業を育てる(労働力確保)

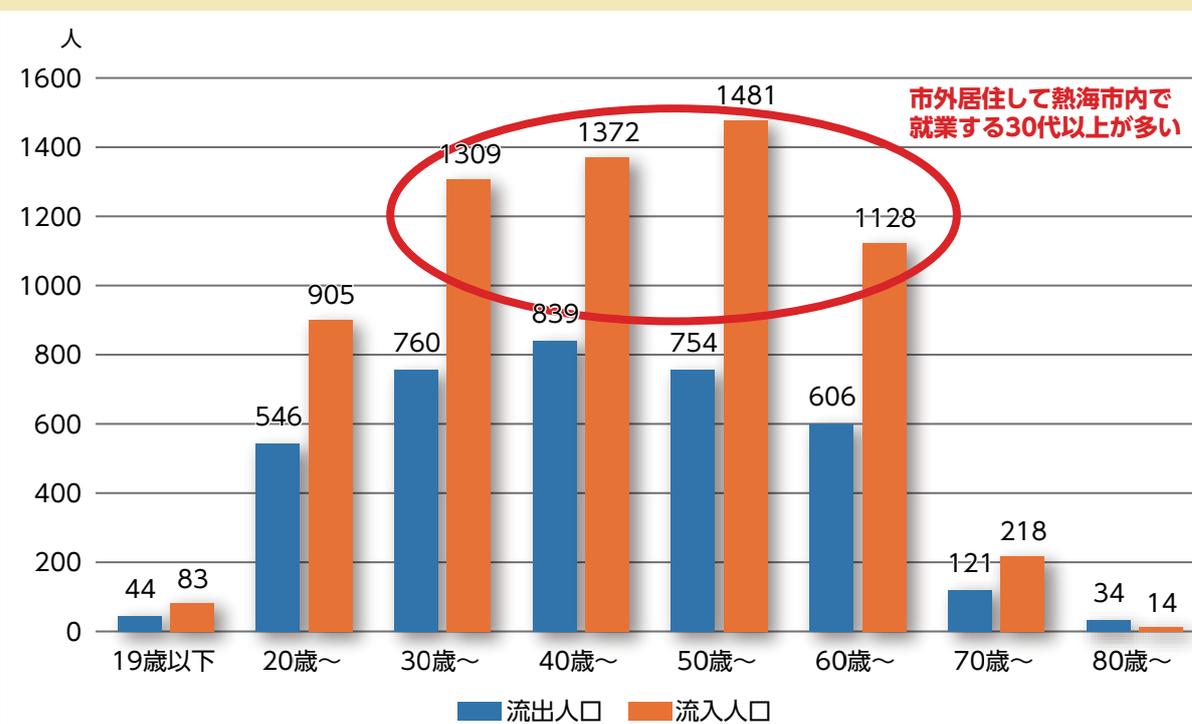
現状と課題

本市の企業は、中小企業が大半を占めており、一部の業種を除き、求人数が求職者数を上回る人手不足が生じていることから、労働力を確保するため、働く環境を充実させることが求められています。また、市内労働者の31.4%は市外居住者であり、なかでも30代以上の世代が市外に居住する割合が高いことから、暮らしやすさ等、住環境との関連も合わせて検討する必要があります。

さらに、本市の産業構造は、第3次産業に従事する就業者が8割を超えています。特に、基幹産業である観光業は景気や経済情勢に影響を受けやすいことから、積極的な創業支援や新産業の誘致を進めることにより、新たな雇用の創出や税収の確保等、地域振興に様々な波及効果をもたらすことが必要です。



熱海市の就業者流出入人口



施策の方向

- ◇ 熱海に住み、熱海で働く人を増やすため、暮らしやすい環境づくりを推進します。
- ◇ * ワークライフバランス（解説 P.96）の実現や多様な就労ニーズに対応するため、関係機関との連携を強化します。
- ◇ まちの活性化を図るため、商工会議所や金融機関等と連携し、新規参入者への相談体制の充実等、事業のしやすい環境づくりを支援します。
- ◇ 本市の経済発展と安定を維持するため、多様な産業の誘致を推進します。
- ◇ 官民協働でまちづくりの視点に立った*リノベーション（解説 P.96）に取り組み、まちの活性化を図り、新たな事業進出を促進します。

施策の内容と主な事業

施策の内容	主な事業
労働環境の整備	<input type="checkbox"/> 多様な働き方の推進 <input type="checkbox"/> 保育園・*認定こども園（解説P.95）における保育環境の確保
労働力の確保	<input type="checkbox"/> 人材マッチング事業の支援 <input type="checkbox"/> *インターンシップ（解説P.91）や職場体験等の事業
創業支援	<input type="checkbox"/> 【再掲】官民協働による創業支援体制の強化
新産業の創出	<input type="checkbox"/> 熱海リノベーション構想の策定及び推進

評価指標と目標値

指標	現状	最終目標
市内労働者の市内居住率	68.6%	70%
起業家支援による創業件数	—	10件